

平成25年度奥州市総合水沢病院事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

ア 一般的事項

平成25年度は、病院改革プランの最終年度である5年度目に当たる年度でした。プラン実施当初からの医師不足状態や平成22年度の精神科病床廃止等により、プランが想定する診療環境と実際の状況とは著しく相違が生じ、プランに掲げた諸目標の達成が困難を極める中、一昨年度には複数の医師を確保ができたほか、病院職員が一丸となった経営改善への取り組みが徐々に実を結び始めたことから、前年度同様、今年度はこれを更に推進し、プランに掲げる諸目標との乖離を一層解消することが求められる年度でした。

まず、診療環境整備については、医師数は今年度着任1名及び退職1名により18名となりました。

次に、収入増加策については、病院の主な収入である診療報酬において、感染防止対策加算及び麻酔管理料など適正な施設基準取得を図ったほか、地域医療連携強化により受入患者の拡大を図ると共に、未収金徴収の取り組み、各種予防接種の実施、学校検診器具の滅菌業務の受託継続など、収益向上を図るための各種対策を推進し、収入の確保に努めました。

費用縮減策としては、事務局組織の改編による人員削減や早期退職勧奨など職員数の適正化に努めると共に、事業管理者をはじめ医師を除く職員の給料の削減、夜間看護手当や医療技術員手当など特殊勤務手当の削減を継続したほか、奥州市立の病院、診療所で使用する薬品の共同購入も継続して実施しました。

一方、医療サービス提供機能の維持、強化を図るため、医療用吸引ポンプ改修等の重要な設備の更新のほか、多項目自動血球分析装置や胸腹部連続撮影システム等の医療機器の整備更新を行い、療養環境の改善については、入院中の食事について長期に渡るアンケート実施や温冷配膳車導入を通じて質の向上を行ったほか、外来待合スペースへ設置した画像配信システムによる患者さん向け医療情報等の提供、来客用駐車区画の増設及びトイレ改修等を行いました。

また、今年度も接遇研修を実施し、職員一人ひとりが真心のこもった対応を心がけることにより、患者さんやそのご家族の心に寄り添うような、より良質な医療サービスの提供に努めました。

このほか、病院運営状況の即時的な把握に努めるとともに、院内各種会議や全職員対象の説明会等を通じて、病院運営状況と当院の目指すべき方向性を職員全員が共有し、問題点や課題に対し円滑な対応ができるよう努めました。

これらの結果、前年度に引き続き経営状況を改善し、経常収支比率をはじめとするほとんどの経営指標について、プラン目標を達成若しくは乖離を縮小することができました。

イ 経営状況

(ア) 患者利用状況

本年度の入院患者数は、49,766人で前年度と比較して0.3%減となり、外来患者数は、95,579人で前年度と比較して0.8%の減となりました。

また、一日当たりの平均患者数は、入院で136.3人（前年度136.7人）、外来で391.7人（前年度393.3人）となりました。

なお、病床利用率は全病床数では91.5%で、前年度より0.3ポイントの減、うち一般病床では94.0%で、前年度より0.3ポイントの減となりました。

(イ) 収益的収入及び支出について（消費税及び地方消費税抜き）

収入では、医業収益で2,947,195,680円となり、前年度と比較して1.7%の増となりました。この内訳は、入院収益で1,863,815,338円、外来収益で831,098,932円、その他医業収益で252,281,410円です。

医業外収益は738,570,261円となり、前年度と比較して微減となりました。この内訳は、補助金が12,285,000円、負担金交付金が709,494,000円、その他医業外収益で16,811,261円です。

病院事業収益総額は4,058,121,941円で、前年度と比較して1.3%の増となりました。

支出においては、医業費用で3,102,271,830円となり前年度と比較して0.9%の増となりました。この内訳は、給与費で1,732,829,225円となり前年度と比較して1.1%の減、材料費で597,368,816円となり前年度と比較して2.7%の増、経費で590,911,703円となり前年度と比較して6.6%の増、そのほか減価償却費では150,751,763円、資産減耗費は21,758,208円、研究研修費は8,652,115円です。

医業外費用は72,588,765円となり前年度と比較して2.6%の減となりました。この内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費で12,364,710円、雑損失が60,224,055円です。

そのほか特別損失が4,945,127円で、病院事業費用総額で3,179,805,722円となり、前年度と比較して0.8%の増となりました。

この結果、医業収支では155,076,150円の損失でしたが、経常収支では、市からの繰入金等により510,905,346円の利益となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益では、前年度と比較して27,255,261円増加して878,316,219円の純利益となりました。

(ウ) 資本的収入及び支出について（消費税及び地方消費税込み）

収入は、一般会計出資金で総額39,896,000円となりました。

支出は、建設改良費72,881,550円、企業債償還金377,540,648円、長期借入金償還金144,000,000円で総額594,422,198円となりました。

なお、収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補てんしました。